

サイボーグ型ロボット

HAL

Hybrid Assistive Limb
サイバニックインターフェースのデモ実施予定



一般市民向け公開報告会

サイバニクスと
共にある
未来

[日時] 2018.1/13(土)

開場受付/14:00 開始/14:30 終了/16:40

[場所] パシフィコ横浜 会議センター5階[501]

<http://www.pacifico.co.jp/> 横浜市西区みなとみらい1-1-1

Program

特別講演 黒岩祐治 神奈川県知事

『HAL医療用下肢タイプの治験(HAM等痙性対麻痺)及び臨床研究の進捗状況』
中島 孝

『革新的サイバニックシステムによる未来開拓最前線』
山海嘉之

『サイバニックインターフェースについて』
イアノフ・アレクサンデル

鼎談『進化する医療と介護』
神奈川県知事 黒岩祐治 × 山海嘉之 × 中島 孝

山海 嘉之
Yoshiyuki Sankai

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授
筑波大学 サイバニクス研究センター 研究統括
内閣府ImPACT革新的研究開発推進プログラム プログラムマネージャー
CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO



中島 孝
Takashi Nakajima

独立行政法人 国立病院機構新潟病院 院長
医学博士 専門:神経内科学、内科学



イアノフ・アレクサンデル
Alexandr Igorevitch Ivanov

CYBERDYNE株式会社 研究員
サイバニクススイッチプロジェクトのリードエンジニア
日本学術振興会特別研究員/山海研究室メンバー



町 亜聖
Asei Machi

1995年、日本テレビにアナウンサーとして入社
“生涯現役アナウンサー”であるために2011年にフリーに転身
脳障害で車椅子生活だった母との経験から
医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動を続ける



お願い! 患者さんのお写真・動画像などの撮影はできませんので、予めご了承ください。

主催/平成29年度日本医療研究開発機構研究費 難治性疾患実用化研究事業「希少難治性脳・脊髄疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)を用いた新たな治療実用化のための多施設共同医師主導治験の実施研究班」(医療用HAL研究班)

後援/神奈川県、(一社)日本ALS協会神奈川県支部、NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会、NPO法人ICT救助隊

お問い合わせ 国立病院機構新潟病院 研究班事務局

E-mail kenkyuuhan@niigata-nh.go.jp

Tel 0257-22-2185 [直通]

fax 0257-24-9812

design:UBENIPPOseisaku



サイバニクスと共にある未来



山海 嘉之

Yoshiyuki Sankai

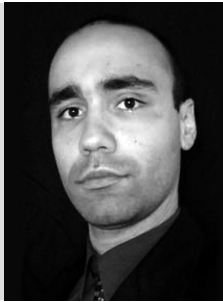
筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授
筑波大学 サイバニクス研究センター 研究統括
内閣府ImPACT革新的研究開発推進プログラム プログラムマネージャー
CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO
1987年3月筑波大学大学院(博)修了。日本学術振興会特別研究員、筑波大学機能工学系助手、講師、助教授、米国Baylor医科大学客員教授、筑波大学機能工学系教授を経て現在、筑波大学大学院システム情報工学研究科教授。CYBERDYNE(株)CEO。脳・神経科学、行動科学、ロボット工学、IT、人工知能、システム統合技術、生理学、心理学、哲学、倫理、法学、経営などを融合複合した新学術領域「サイバニクス」を創成し、世界初のロボット治療機器「医療用HAL®」を研究開発。



中島 孝

Takashi Nakajima

1983年新潟大卒。米国NIHフェローを経て、91年国立療養所犀潟病院、2004年より国立病院機構新潟病院副院長、2017年より現職。神経内科学、特に神経筋疾患、遺伝子診断、緩和ケア、Bioinformaticsなどの臨床研究に携わる。H17~H19「特定疾患患者の生活の質(Quality of life, QOL)の向上に関する研究」の研究代表者を務めた。SEIQoL[http://seiql.jp/]の研究・普及に尽力している。「非悪性腫瘍の緩和ケアハンドブック:ALS(筋萎縮性側索硬化症)を中心に」(西村書店)を監訳した。サイバーク型ロボットHALの医師主導治験の治験責任医師・調整医師として治験を行い、脳・神経機能再生に関する研究を行っている。



イアノフ アレクサンデル

Aleksandr Igorevitch Ivanov

2015年3月筑波大学大学院(博)修了。日本学術振興会特別研究員、山海研究室メンバー、CYBERDYNE(株)研究員、サイバニクススイッチプロジェクトのリードエンジニア。生体電位を含み生体情報の多チャンネル高精度計測及び装着型並列処理の研究を推進。



町 亜聖

Asei Machi

小学生の頃からアナウンサーに憧れ1995年に日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、活躍の場を報道局に移し、報道キャスター、厚生労働省担当記者としてがん医療、医療事故、難病などの医療問題や介護問題などを取材。また北京パラリンピックでは水泳メダリストの成田真由美選手を密着取材。“生涯現役アナウンサー”であるために2011年にフリーに転身。脳障害のため車椅子の生活を送っていた母と過ごした10年の日々、そして母と父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」を小学館文庫から出版。医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動を続ける。

*公式ブログ→<http://ameblo.jp/machi-asei/>

パシフィコ横浜 会議センター5階[501]

<http://www.pacifico.co.jp/>

横浜市みなとみらい1-1-1 ☎045-221-2155

access

- 東京駅より/JR東海道線 横須賀線を利用、横浜駅にてみなとみらい線に乗り換え、みなとみらい駅下車
- JR横浜線より/菊名駅にて、東急東横線元町・中華街方面(特急・みなとみらい線直通)に乗り換え、みなとみらい駅下車
*横浜駅からタクシーで30分
- 羽田空港から
- リムジンバスでパシフィコ横浜行き直通リムジンバスを利用(40分)
- YCAT(横浜)行きリムジンバスを利用、横浜駅で乗り換え(40分)
- 電車で/京浜急行(快速特急)逗子方面行きを利用し横浜駅下車、みなとみらい線に乗り換え、みなとみらい駅下車
*羽田空港からタクシー(首都高速)で20分

